

病理診断科

■ 治療実績（2015 年）

組織診件数	5632 件
そのうち、手術件数	1448 件
ESD の件数	171 件
細胞診件数	7446 件

■ 初期研修医 2 年目でできること

剖検立会い及び補助、並びに標本作製から鏡検、CPC プレゼンテーションまで包括的に担当した CPC レポートの作成。

検体切り出し、標本作製過程を含む、病理組織診断及び細胞診の研修、並びに症例発表。

術後カンファレンス、CPC での病理側プレゼンテーション。

■ 後期研修医でできること

病理専門医取得をめざした、さらなる病理組織診断の研修。

細胞診専門医取得を念頭に置いた、さらなる細胞診研修。

臨床的研究、症例発表、並びに術後カンファレンス及び CPC での病理側プレゼンテーション。

■ セールスポイント

当院では手術件数が多いため、必然的に全体の組織診検体数が多く、特に ESD 材料を含む消化管検体の件数は県内トップクラスです。

加えて当院にはほぼ全診療科が揃っていますので、その他の領域についても、細胞診も含め、まんべんなく豊富な経験を積むことができます。

指導体制では当施設は日本病理学会研修登録施設、臨床細胞学会認定施設であり、病理学会認定の専門医研修指導医、臨床細胞学会認定の細胞診専門医による指導に加え、毎週 1 回程度岡山大学病理学教授の指導も受けられます。

また、臨床各科とはカンファレンスが随時行われ、連携が図られています。

病理解剖については、件数はあまり多くありませんが、現在オートプシーイメージング(Ai)をほぼ全例で併用しており、画像所見と連携した、より詳細な検索を施行しています。

インフラ面では電子カルテに接続した病理診断システム、自動免疫染色装置等が導入されており、これらを使用した臨床的研究もおこなわれています。